

山梨県知事 殿

山梨県男女共同参画団体活動促進事業費補助金交付申請書

山梨県男女共同参画団体活動促進事業費補助金交付要綱第 6 条の規定に基づき、下記のとおり補助金の交付を申請します。

提出日を記入

令和 7 年 6 月 1 日

申請者(団体)の必要事項を記入

申請者
所在地
団体名
代表役職名
代表者名

甲府市丸の内〇丁目〇〇 - 〇
〇〇〇の会
理事長
〇〇 〇〇

申請する事業名を記入

記

1 事業名	デートDV予防講座	
2 申請額	50,000 円	申請金額を記入
3 事業完了時期	令和 7 年 9 月	事業が完了する月を記入(日にちは不要)
4 関係書類	✓ 事業計画書(様式第 1 号の 1) ✓ 事業収支予算書(様式第 1 号の 2) ✓ 団体概要(様式第 1 号の 3) ✓ 団体目的等についての確認書(様式第 1 号の 4) ✓ 誓約書(様式第 1 号の 5) ✓ 口座振替依頼書(様式第 2 号) ✓ 事業の内容が分かる資料(パンフレット等) ※必要に応じて添付	提出書類の有無を確認

事業計画書

1 事業の区分（該当するものに○を付ける。複数回答可）

- ☒ ア 子育て支援のための取組等
- イ 住民相互で助け合う共助型福祉の取組等
- ウ 防災又は防犯のための取組等
- エ 環境保全のための取組等
- オ 地域美化のための取組等
- カ 地域産業の活性化のための取組等
- キ 農村・都市交流を図るための取組等
- ク 地域スポーツの振興のための取組等
- ケ 地域文化の振興のための取組等
- コ 伝統的な祭り、芸能その他地域行事の振興のための取組等
- ☒ サ DV防止、児童虐待防止、性暴力被害防止のための取組等
- シ 心と身体の健康づくりのための取組等
- ス 「生命の安全教育」推進のための取組等
- セ その他地域課題の解決に資すると認められる取組等（ ）

該当する項目に丸を付ける
※複数該当する場合は、すべてに丸を付ける

2 事業を実施することで見込まれる効果（該当するものに○を付ける。複数回答可）

- ア 男女共同参画に係る若年層等への「意識啓発」の強化
- イ 男女共同参画の視点に立った学びの推進
- ウ 幅広い分野で女性リーダーを増やしていくための「人材育成」の強化
- ☒ エ 仕事と生活を両立できる環境づくり
- オ 地域における男女共同参画の推進
- カ 複雑多様化する課題に対応する「相談機能」の充実強化
- キ 多様性の尊重と安心して暮らせる社会づくり
- ク ヘルスリテラシーの向上と性差に応じた的確な支援

3 男女共同参画の推進につながる理由

(事業を実施することにより、どのように男女共同参画につながるかを記入)

4 事業の内容 (次の内容を具体的に記入)

▶ 時期 (いつ)

(申請書記入時点で日程が固まっていない場合、実施想定時期 (○月中旬) 等でも可)

▶ 場所 (どこで)

(申請書記入時点で日程が固まっていない場合、想定場所 (甲府市内等) でも可)

▶ 対象 (どのような人に向けて)

▶ 参加予定人数 (何人程度)

▶ 実施方法 (どのように)

▶ 連携・協働の内容 (連携・協働先、グループ内の協働の状況、企業等の支援、ボランティアの関与状況等があれば記入)

事業内容(実施方法、場所、時期、参加予定人数等)を具体的に記入してください。
※この部分を見ただけで、どのような事業なのかが分かるように記入してください。

事業収支予算書

1 収入の部

収入区分	予算額	収入内訳（算出の基礎）
会費	65,000円	
山梨県男女共同参画 団体活動促進事業費 補助金	50,000円	
収入と支出が一致する。		
	115,000円	

※予算額（補助金）は、様式第1号の申請額と同額にしてください。

2 支出の部

支出区分	予算額	支出内訳（算出の基礎）
報償費	100,000円	講師謝金 $2人 \times 50,000 = 100,000円$
旅費	10,000円	講師旅費 $2人 \times 5,000 = 10,000円$
使用料及び賃借料	5,000円	会場借料 $1室 \times 5,000 = 5,000円$
別表の対象経費を参考に 費目を記入。		算出の根拠を具体的に記入。
計	115,000円	

※“収入の部”と“支出の部”の計が一致するように作成してください。

※事業にかかる全ての費用をご記入ください。

※補助の対象とする経費に“○”を付けてください。（支出の部のみ）

※支出区分（補助対象経費）については別表を参考にして記入してください。

申請者(団体)の必要事項を具体的に記入

団 体 概 要

団 体 の 名 称	〇〇〇の会		
団体事務局所在地 (連絡先電話番号)	〒 4 0 0 - 0 0 3 1 甲府市丸の内〇丁目〇〇-〇 (0 5 5 - 〇 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇)		
代 表 者	役 職 理事長 氏 名 〇〇 〇〇		
主たる活動目的	DV・デートDVの防止		
団体の役員構成	理事長 1 名、理事 3 名、事務局 1 名、監事 2 名		
団 体 の 会 員 数	令和 7 年 6 月現在 1 3 人 (男 6 人 女 7 人)	会員の資格 特になし	
発 足 年 月 日	平成〇年△月□日 (発足総会等の年月日を記入)		
申請年度年間予算	1 0 0 , 0 0 0 円 年会費/人 5 , 0 0 0 円	他の補助金・助成金の有 無	有 ・ ④無
活 動 概 要 (主たる事業)	〇DV・デートDVのない社会を目指して、普及啓発活動を行う。 (1) DVもしくはデートDV防止啓発研修会を年1回行う。 (2) リーフレットを作成し、街頭キャンペーンを年1回行う。		

書類提出日を記入		令和 7 年 6 月 1 日
団体目的等についての確認書		
団体の印がある場合には押印、 ない場合は代表者の印を押印		
団体名	〇〇〇の会	印
代表者名	〇〇 〇〇	

当団体は、「山梨県男女共同参画団体活動促進事業費補助金募集要領」の「第 3 条 対象団体の要件」に規定するいずれの事項にも該当することを確認しました。

誓 約 書

私は、下記の事項について誓約します。

なお、県が必要な場合には、山梨県警察本部に照会することについて承諾します。

また、照会で確認された情報は、今後、私が県と行う他の契約等における身分確認に利用することに同意します。

記

- 自己又は自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。
 - 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - 暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者
 - 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持・運営に協力し、又は関与している者
 - 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - 下請契約又は資材、原材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方が上記（1）から（5）までのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結している者
- 1の（2）から（6）に掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

提出日を記入

令和7年6月1日

山梨県知事 殿

〔法人、団体にあつては事務所所在地〕

団体の印がある場合には押印、
ない場合は代表者の印を押印

必要事項を記入

住 所 甲府市丸の内〇丁目〇〇 - 〇

〔社印または代表者印〕

(ふりがな)

法人名 まるまるまる かい 〇〇〇の会

(ふりがな)

代表者の印を押印

代表者名 理事長 まるまる まるまる 〇〇 〇〇

生年月日 昭和〇〇年 〇〇月 〇〇日

口座振替依頼書

提出日を記入

令和7年6月1日

申請者(団体)の必要事項を記入

山梨県知事 殿

申請者(団体)の必要事項を記入

申請者

所在地

甲府市丸の内〇丁目〇〇 - 〇

団体名

〇〇〇の会

代表役職名

理事長

代表者名

〇〇 〇〇

山梨県男女共同参画団体活動促進事業費補助金については、下記口座に振り込んでください。

振込口座	金融機関名	□□□銀行		
	支店名	△△支店		
	口座種別	普通		
	口座番号	1 2 3 4 5 6		
	フリガナ	マルマルマルノカイ	マルマル	マルマル
	口座名義人	〇〇〇の会	〇〇	〇〇

※ 口座情報に誤りがある場合は、振込不能となりますので、通帳の記載内容を十分に確認の上、記入願います。

※ ゆうちょ銀行の場合は、他の金融機関からの振込の際に利用する「店名・預金種目・口座番号」を記入願います。

注：口座名義人が補助金申請者と異なる場合等は、下記の委任状の記入が必要となります。

※代表者と口座名義人が異なる場合のみ記入。

委任状

日付を記入

令和7年6月1日

必要事項を記入

申請者

所在地

甲府市丸の内〇丁目〇〇 - 〇

団体名

〇〇〇の会

代表役職名

理事長

代表者名

〇〇 〇〇

山梨県男女共同参画団体活動促進事業費補助金の受領に関する権限を下記の者に委任します。

受任者(口座名義人)

住所：甲斐市篠原〇〇〇〇 - 〇

氏名：△△ △△

受任者の必要事項を記入

印

受任者の印を押印